伊高生，頑張っています！

6/24(土)
南日本新聞

平和への願い 高校生が伝える

児童指導員
山鹿　博子(58)

太平洋戦争末期、旧日本軍の特攻機が不時着した三島村の黒島を舞台に、特攻隊員と島民との交流の実話を基にした創作劇を観賞しました。日置市の伊集院高校演劇部が、黒島公演に続き、鹿児島市のかごしま県民交流センターで演じました。

「特攻はばかげた作戦だと思わなかったのですか」と聞かれた元少尉はうつむいたまま。質問した記者が「それが戦争ということですね」とつぶやく場面がありました。

その時、母の言葉を思い出しました。1944(昭和19)年8月、小学6年生だった母は、学童疎開船「対馬丸」の沈没を間近で目撃したのです。一緒の船団で隣の船に乗っていたそうです。

「海面から『助けて』と泣き叫ぶ声を忘れられない。でも助けていたら、こっちがやられる。私たちの船はそのまま進むしかなかった。それが戦争」。母は涙を浮かべながら話してくれました。

今回、若い世代が平和への願いを演劇を通してしっかりと伝えてくれました。とても心強くうれしく思いました。

6月23日の「沖縄慰霊の日」と合わせ、平和への思いを新たにしました。(鹿児島市)

7/15(土)
南日本新聞

最優秀賞作品に 小6西柳さんら

鹿屋・平和メッセージ

鹿屋市の「平和の花束2023」実行委員会は、小中高生対象の平和へのメッセージコンテストの審査結果を公表した。小学校5・6年の部の最優秀賞には同市田崎小6年、西柳春花さんの「笑って生きたい」が選ばれた。8月10日に同市でセレモニーがあり、各部の最優秀賞作品が朗読される。

平和の花束は旧海軍の航空基地があった鹿屋からメッセージを発信し、平和や人権を考える機会を提供する取り組みで、10年目。コンテストには国外を含む県内外から6129点の応募があった。(木場志郎)

その他の入賞者は次の通り(敬称略)。

【小学校5・6年】優秀賞 片平拓斗(下名5年) 萬福侑希(田上6年) 立山陽桜(西原台6年)【中学生】最優秀賞 鵜瀬桜彩(鹿屋2年)▽優秀賞 江口煌一朗(第一鹿屋3年) 古閑めぐみ(立神3年) 山下紗耶(鹿児島大付属3年)【高校生】最優秀賞 山下心愛(伊集院1年)▽優秀賞 東郷良馬(兵庫県北条2年) 宮下愛梨(鹿屋女子3年) 山田奏深(志學館2年)【英語部門】最優秀賞 柴垣咲良(鹿屋女子高3年)▽優秀賞 向井美香(同) 森山凜咲(鹿屋東中3年)▽台湾の部最優秀賞 Sean Chen【空がつなぐまち・ひとづくり推進協議会賞】山下倖輝(兵庫県北条高2年) 森本和愛(大分県駅館小6年)